



第2号は、学習の取り組みを紹介します

ICTを活用した授業の紹介

GIGAスクール構想によって、小学部、中学部の児童生徒に1人1台端末としてiPadが貸与され、高等部にはクロームブックが95台配備されてから4年がたちます。本校では、授業にICTを活用する取組を行ってきました。

小学部では、iPadの操作に慣れるために、国語・算数の授業や休み時間などで、児童がたくさん触れて慣れるようにしてきました。最近では、教科の指導に端末や端末内のアプリを効果的に活用する取組も行われています。

中学部では、生徒の支援として、校内で遠隔授業を行いました。どこでもリモートでつながることができるICTの強みを活かし、生徒のコンディションに合わせて場所を変えても友達と同じ授業に取り組めるように支援しました。

高等部では、GoogleworkspaceのJamBoardやスライドを使って、生徒同士が同時に意見の共有化を図り、生徒会のポスターを作るためのテーマについて話し合いを行いました。

今後もICTを活用することで、児童生徒に寄り添った支援を行ったり、理解や気づきを促すような効果的な支援を行ったりしていきたいと思えます。


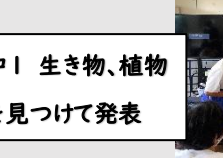


◆小学部4年体育「投げる」アプリ名:ウゴトル
投げている自分のフォームを動画で確認しました。自分が投げるときに肘が下がっていることに気付くことができました。

本校ならではの学習「麻活」の紹介②



本校では、麻機を題材として地域の中で学び、働き、繋がることのできる授業づくりに取り組んでいます。主に生活単元学習、総合的な探求(学習)の時間において麻活の活動が行われています。小学部では麻機地区の地域を歩く、遊ぶことで自然の魅力を発見しています。中学部では第1、3工区を中心に植物や生き物について調べ学習をし、発表する機会を大切にしています。高等部は「実践、発信」、「働く」が加わり、地域や関係団体と関わりながら様々な学習の中で麻機遊水地の自然に関わり、働く力を身に付けています。学校全体で持続可能な社会づくりに向けた地域の一員を目指していきます。

小学部 「歩く・遊ぶ・知る」	中学部 「調べる・伝える」	高等部 「知る・実践・発信」「働く」
 <p>小6 第3工区を 散策して自然観察</p>	 <p>中1 見つけた ハスを観察</p>	 <p>高2 外部講師 とのシードバンク</p>
 <p>小4 第3工区で 魚の観察</p>	 <p>中1 生き物、植物 を見つけて発表</p>	 <p>遊水地再生事業班 第3工区の除草 作業</p>

(地域連携課 村田綾乃)